

第 56 回けんこう教室開催レポート

4月21日(土)に第56回けんこう教室を開催しました。初夏を思わせる陽気の中、岩崎康夫予防医学センター長(脳神経外科)講師の「健診結果の見方・考え方～目からウロコの血圧・コレステロール・血糖値・認知症のお話～」には、168名にご参加いただきました。



岩崎 康夫 予防医学センター長

まずは、「健診」と「検診」の共通点と違い、「健診と人間ドックの違い」について説明がありました。

健診と検診は、どちらも健康な人や無症状な人を対象にしている、自己負担で行うものです。一方で、健診は一般的な健康状態を調べることを目的としたものですが、検診は特定の病気の有無や状態を調べるためのものです。また、健診が受診や検査項目が法律で定められ無料か一部自己負担なのに対し、人間ドックは任意であり、検査項目も多岐にわたります。費用も原則は自己負担という違いがあるというお話でした。

続いて、健診の結果に表れるBMIやメタボリックシンドローム、コレステロールや高脂血症、脂質異常、中性脂肪、LDLコレステロールについて、それぞれの検査の意義と基準値などについて、当院の健診結果の表をもとに解説しました。

検診結果の見方のポイントとして、「基準値とは、健康人のデータから算出されますが、個々人の年齢・性別や病気の有無、病気のリスクなどによって望ましい検査値が異なります」ので、個別化医療(テーラーメイド医療)の考え方から、一人ひとりの「管理目標値」が重要ということでした。

認知症については、MRI検査をした方から、「私の脳は委縮していませんか？ 海馬が委縮すると認知症になると聞きました」というご質問を受けることがあるけれど、MRIでわかるのはかなり進行した場合。認知症の初期段階(MCI)ではMRI検査ではわからないということでした。

「当院の脳ドックでは、認知症かどうかを調べる検査『長谷川式簡易知能評価スケール』と同時に、今月よりトランプ大統領も受けた「モンリオール式」のMCIの検査を導入しています」とのことでした。ご興味のある方は、ぜひお試しください。



森居健一 理学療法士に合わせて
体操をする参加者

リハビリテーション室の森居理学療法士による、「生活習慣病予防体操」をご紹介します。

○次回は、5月19日(土)13:30～14:50に

第2回メディカルセミナー 心不全にならないために、そして繰り返さないために

-健康寿命増進のために重要な心臓ケア-(市川グランドホテル)

(永井 敏雄 循環器内科部長 国際医療福祉大学 医学部教授)

6月16日(土)14:00～15:00に第57回けんこう教室

「ここまで治せる皮膚の最新治療」～めざせ、皮膚トラブルのない生活を～(当院)

(森村 壮志 皮膚科副部長、国際医療福祉大学 医学部講師) を予定しています。